

認定第10号

平成28年度芽室町公立芽室病院事業会計決算認定の件

地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成28年度芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

平成29年9月1日提出

芽室町長 宮 西 義 憲

平成28年度芽室町各事業会計収支決算審査意見書

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、平成29年6月8日審査に付された平成28年度芽室町各事業会計決算について審査した結果、次のとおり報告します。

平成29年8月24日

芽室町監査委員 富田明雄



芽室町監査委員 西尾一則



芽室町長 宮西義憲 様

1 審査の対象

- (1) 平成28年度芽室町上水道事業会計決算
- (2) 平成28年度芽室町公立芽室病院事業会計決算

2 審査の期間

平成29年6月29日から7月7日までのうち4日間

3 審査の方法

平成28年度の芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査にあたっては、審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分(欠損金処理)計算書、貸借対照表のほか決算付属書類としての事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書、企業債明細書等と証書類、試算表、総勘定元帳を照合点検し、計算の正確性、予算執行上の適否について審査し、かつ決算諸表が法令に準拠し作成されているか、経営内容及び財産管理の実態が適正確実に表示・保管され、請負契約・委託契約等が適正に取りかわされ契約のとおり実施されているか、更に一般会計からの繰入が適正に処理されているか等について審査を実施いたしました。

4 決算の概要及び審査意見

平成28年度の芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査の結果、決算報告書及び各財務諸表は地方公営企業法その他の関係法令に準拠し、計数は関係諸帳簿、証拠書類等に正確に記帳され、2事業の執行状況は適正なものと認めました。

なお、決算の概要は次のとおりです。

芽室町上水道事業会計

平成28年度における芽室町上水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・営業収益

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
給 水 収 益	375,390,735	393,344,456	△ 17,953,721	95.4
その他営業収益	10,489,188	12,617,559	△ 2,128,371	83.1
計	385,879,923	405,962,015	△ 20,082,092	95.1

・営業外収益

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
他会計補助金	18,935,681	216,000	18,719,681	8,766.5
長期前受金戻入	43,696,824	43,847,722	△ 150,898	99.7
雑 収 益	6,671,950	8,363,268	△ 1,691,318	79.8
計	69,304,455	52,426,990	16,877,465	132.2

※ 収益的収入合計

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
収益的収入合計	(486,561,302)	(491,364,277)	(△4,802,975)	99.0
	455,184,378	458,389,005	△ 3,204,627	99.3

上欄（）内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比 20,082,092円(4.9%)減の 385,879,923円で、そのうち給水収益において17,953,721円(4.6%)の減であります。これは昨年8月に発生した台風10号災害によって一部の企業の操業停止により水道使用量が減少したことが主な要因です。

営業外収益では、16,877,465円(32.2%)増の 69,304,455円で、そのうち他会計補助金において18,719,681円の増であります。増額の主な要因は台風10号災害による被災者減免分補助金として18,623,681円が一般会計から繰り入れされたことによるものであります。

収益的収入合計では、前年度比 3,204,627円(0.7%)減の 455,184,378円であります。

(2) 収益的支出 (消費税を除く)

・営業費用

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
原水及び浄水費	128,436,353	127,890,703	545,650	100.4
配水及び給水費	4,874,500	7,685,618	△ 2,811,118	63.4
業 務 費	16,875,370	12,442,202	4,433,168	135.6
総 係 費	24,217,162	23,559,455	657,707	102.8
減価償却費	178,005,785	176,800,390	1,205,395	100.7
資産減耗費	1,844,666	1,067,192	777,474	172.9
計	354,253,836	349,445,560	4,808,276	101.4

・営業外費用

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
支払利息及び 企業債取扱諸費	40,439,581	43,891,697	△ 3,452,116	92.1
計	40,439,581	43,891,697	△ 3,452,116	92.1

・特別損失

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
固定資産売却損	468,326	596,900	△ 128,574	78.5
計	468,326	596,900	△ 128,574	78.5

※ 収益的支出合計

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
収益的支出合計	(416,246,811)	(417,881,054)	(△1,634,243)	99.6
	395,161,743	393,934,157	1,227,586	100.3

上欄()内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比 4,808,276円(1.4%)増の 354,253,836円で、増額の主な要因は企業会計システム改修業務委託 4,580,000円であります。

営業外費用は、前年度比 3,452,116円(7.9%)減の 40,439,581円で、特別損失 468,326円を加えると、収益的支出合計では、前年度比 1,227,586円(0.3%)増の 395,161,743円であります。

この結果、収益的収入合計 455,184,378円、収益的支出合計 395,161,743円で、当年度の純利益は 60,022,635円であります。

純利益に前年度繰越利益剰余金 126,625,390円、その他の未処分利益剰余金変動額 49,936,874円を加えた当年度未処分利益剰余金は、236,584,899円であります。

2 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
企 業 債	105,800,000	73,000,000	32,800,000	144.9
固定資産売却代金	615,390	484,180	131,210	127.1
計	(106,464,621) 106,415,390	(73,522,914) 73,484,180	(32,941,707) 32,931,210	144.8 144.8

上欄()内は、消費税込みの数値です。

(2) 資本的支出

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
配水本管整備費	27,200,000	27,700,000	△ 500,000	98.2
給水設備費	30,493,660	25,477,000	5,016,660	119.7
第6期拡張事業費	71,567,152	60,161,916	11,405,236	119.0
企業債償還金	140,895,185	144,101,998	△ 3,206,813	97.8
計	(280,496,857) 270,155,997	(266,508,023) 257,440,914	(13,988,834) 12,715,083	105.2 104.9

上欄()内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額 174,032,236円(消費税込み)は、当年度分損益勘定留保資金 136,153,627円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 10,291,629円及び繰越利益剰余金処分量 27,586,980円で補てんし、資金収支の均衡が図られております。

企業債償還金は、平成27年度末未償還残高は 1,743,105,380円で、平成28年度に 105,800,000円を借入、140,895,185円を償還し、平成28年度末未償還残高は 1,708,010,195円となっております。

(3) 建設改良工事の概要(消費税込み)

- ① 配水本管整備事業(石綿管から铸铁管への布設換) 507.80m 29,376,000円
- ② 第6期拡張事業 60,750,000円
雄馬別地区末端配水管布設工事(第1配水区、第2配水区)、浄水場水質計測設備更新工事、坂の上第1配水池残留塩素計更新工事、浄水場4号配水ポンプ更新工事(電気・機械)
- ③ 検満量水器工事(1~6工区) 858台 15,530,400円
- ④ 量水器の購入 13,860,351円
検満更新用量水器 858台、新設用量水器 76台

3 予算執行状況

(1) 収益的収支

・収益的収入(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
水道事業収益	480,282,000	486,561,302	6,279,302	101.3%
営業収益	410,940,000	416,719,470	5,779,470	101.4%
営業外収益	69,342,000	69,841,832	499,832	100.7%

・収益的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	437,523,000	416,246,811	21,276,189	95.1%
営業費用	381,714,000	366,227,304	15,486,696	95.9%
営業外費用	54,877,000	49,551,181	5,325,819	90.3%
特別損失	932,000	468,326	463,674	50.2%
予備費	42,759,000	0	42,759,000	0.0%
計	480,282,000	416,246,811	64,035,189	86.7%

水道事業収益は予算執行率が101.3%で、水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は95.1%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

(2) 資本的収支

・資本的収入(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	146,864,000	106,464,621	△ 40,399,379	72.5%
企業債	146,700,000	105,800,000	△ 40,900,000	72.1%
固定資産売却代金	164,000	664,621	500,621	405.3%

・資本的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額 (翌年度繰越額)	執行率
資本的支出	324,518,000	280,496,857	7,934,143	86.4%
			(36,087,000)	(97.2%)
建設改良費	183,622,000	139,601,672	7,933,328	76.0%
			(36,087,000)	(94.6%)
企業債償還金	140,896,000	140,895,185	815	100.0%

資本的収入の予算執行率は72.5%、資本的支出の予算執行率は86.4%で、翌年度繰越額を除いた執行率は97.2%であります。

4 水道使用料の未収状況及び不納欠損額

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
現 年 度	8,346,383	7,791,078	555,305	107.1
過 年 度	6,483,804	8,598,614	△ 2,114,810	75.4
計	14,830,187	16,389,692	△ 1,559,505	90.5
不納欠損額	1,877,401	927,915	949,486	202.3

参考 平成26年度から過去4年間

(単位:円)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
現 年 度	8,524,600	10,181,089	9,678,235	8,891,352
過 年 度	9,575,688	13,272,773	14,745,386	17,322,304
計	18,100,288	23,453,862	24,423,621	26,213,656
不納欠損額	3,988,640	1,995,275	2,052,270	2,721,760

水道使用料については、未納者に対する納入相談や電話、催促強化及び給水停止等により現年度分収納率は97.9%(前年度比0.3%減)、過年度分収納率49.0%(前年度比1.6%増)で、未収額は14,830,187円となっており、前年度と比較し1,559,505円未収額が減少しています。

また、不納欠損額にあつては、前年度は191件927,915円に対し、平成28年度は537件1,877,401円で949,486円の増であります。

以上、平成28年度芽室町上水道事業会計決算状況を申し上げましたが、平成28年度は上水道事業施設整備基本計画に基づき、自己水源の確保や災害時の対応を含めた主要施設整備として、深井戸ポンプ施設実施設計を作成し実施に向け取り組み始めたところであります。

一方、水道事業を取り巻く状況としては、給水人口の減少が予測される中、計画を実行するには給水収益の動向を踏まえた財源確保対策が必要とされるとともに、町民の水道事業における理解が大きな課題と考えます。

施設管理における漏水の早期発見修理等施設の維持管理に万全を期し、有収率の向上に努め経営の合理化、健全化を図り経費の縮減に努め、併せて、水道使用料は受益(サービスの提供)に応じた費用を負担することが公平の原則であり、公平性確保の観点からも、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努められ、公営企業の基本原則である経済性を発揮するとともに、町民の生活用水の確保と給水サービスの向上を期待するところであります。

芽室町公立芽室病院事業会計

平成28年度における芽室町公立芽室病院事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・ 医業収益 (単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
入院収益	1,024,051,755	1,029,805,135	△ 5,753,380	99.4
外来収益	635,585,668	658,311,062	△ 22,725,394	96.5
その他医業収益	221,128,226	211,479,198	9,649,028	104.6
計	1,880,765,649	1,899,595,395	△ 18,829,746	99.0

・ 医業外収益 (単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
他会計負担金	47,559,000	53,687,000	△ 6,128,000	88.6
他会計補助金	257,178,000	379,930,000	△ 122,752,000	67.7
患者外給食収益	2,319,465	2,073,541	245,924	111.9
長期前受金戻入	36,371,544	46,415,480	△ 10,043,936	78.4
その他医業外収益	31,374,396	34,532,740	△ 3,158,344	90.9
計	374,802,405	516,638,761	△ 141,836,356	72.5

※ 収益的収入合計 (単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
収益的収入合計	(2,263,409,034)	(2,424,240,696)	(△160,831,662)	93.4
	2,255,568,054	2,416,234,156	△ 160,666,102	93.4

上欄()内は、消費税込みの数値です。

医業収益の入院収益は前年度比 5,753,380円 (0.6%)減の 1,024,051,755円、外来収益は前年度比 22,725,394円 (3.5%)減の 635,585,668円で、医師の交代及び退職等による影響が主な要因であります。

また、医業外収益は前年度比 141,836,356円 (27.5%)減の 374,802,405円で、これは平成27年度は医業収益の大幅な落ち込みに伴い、一般会計からの繰入金が多かったことが主な要因であります。

収益的収入合計では、前年度比 160,666,102円 (6.6%)減の 2,255,568,054円であります。

(2) 収益的支出 (消費税を除く)

・医業費用

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
給 与 費	1,578,861,020	1,597,334,821	△ 18,473,801	98.8
材 料 費	259,471,860	263,486,234	△ 4,014,374	98.5
経 費	396,563,658	404,190,783	△ 7,627,125	98.1
減価償却費	182,094,707	166,880,341	15,214,366	109.1
資産減耗費	3,888,493	31,351,658	△ 27,463,165	12.4
研究研修費	12,035,537	10,118,257	1,917,280	118.9
計	2,432,915,275	2,473,362,094	△ 40,446,819	98.4

・医業外費用

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
支払利息及び 企業債取扱諸費	8,337,344	8,717,997	△ 380,653	95.6
患者外給食材料費	2,813,031	2,506,734	306,297	112.2
雑 損 失	44,142,259	44,344,494	△ 202,235	99.5
運営委員会費	67,018	60,143	6,875	111.4
計	55,359,652	55,629,368	△ 269,716	99.5

・特別損失

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
固定資産売却損	0	18,246,317	△ 18,246,317	皆減

※ 収益的支出合計

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
収益的支出合計	(2,476,869,478)	(2,535,547,652)	(△58,678,174)	97.7
	2,488,274,927	2,547,237,779	△ 58,962,852	97.7

上欄()内は、消費税込みの数値です。

収益的支出の医業費用は、前年度比 40,446,819円(1.6%)減の 2,432,915,275円、医業外費用は、前年度比 269,716円(0.5%)減の 55,359,652円で、収益的支出合計では、58,962,852円(2.3%)減の 2,488,274,927円となり、当年度の純損失は 232,706,873円であります。

この結果、前年度繰越欠損金 145,541,532円に、当年度純損失 232,706,873円を加えた当年度未処理欠損金は 378,248,405円であります。

2 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
企 業 債	21,300,000	130,000,000	△ 108,700,000	16.4
繰 入 金	4,794,000	42,175,000	△ 37,381,000	11.4
固定資産売却代金	0	19,829,630	△ 19,829,630	皆減
寄 附 金	4,380,404	4,668,145	△ 287,741	93.8
長期貸付金償還金	300,000	600,000	△ 300,000	50.0
計	(30,774,404) 30,774,404	(197,843,145) 197,272,775	(△167,068,741) △ 166,498,371	15.6 15.6

上欄()内は、消費税込みの数値です。

(2) 資本的支出

(単位:円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減	前年度比(%)
有形固定資産購入費	33,635,383	196,476,913	△ 162,841,530	17.1
施 設 費	6,636,476	24,539,971	△ 17,903,495	27.0
企業債償還金	35,415,417	34,908,669	506,748	101.5
長期貸付金	0	2,100,000	△ 2,100,000	皆減
計	(75,850,725) 75,687,276	(258,782,349) 258,025,553	(△182,931,624) △ 182,338,277	29.3 29.3

上欄()内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額 45,076,321円(消費税込み)は、過年度分損益勘定留保資金 6,475,598円、当年度分損益勘定留保資金 38,437,274円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 163,449円で補てんし、資金収支の均衡が図られております。

なお、資本的支出において、有形固定資産購入費として企業債借入れ及び国保特別会計繰入金等により、一般撮影装置、3Dワークステーション、栄養管理システム等の器械及び備品購入並びに病院施設の窒素マニホールド更新工事及び中央監視自動制御装置更新工事を行っております。

3 予算執行状況

(1) 収益的収支

・収益的収入(消費税込み)

(単位:円)

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
病院事業収益	2,421,784,000	2,263,409,034	△ 158,374,966	93.5%
医業収益	2,051,957,000	1,887,949,405	△ 164,007,595	92.0%
医業外収益	369,827,000	375,459,629	5,632,629	101.5%

・収益的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
病院事業費用	2,527,937,000	2,476,869,478	51,067,522	98.0%
医業費用	2,505,817,000	2,458,903,620	46,913,380	98.1%
医業外費用	20,120,000	17,965,858	2,154,142	89.3%
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0%

病院事業収益は予算執行率が93.5%で予算額に対し決算額は158,374,966円下回っており、その主なものは入院収益の減少によるものであります。また、病院事業費用は予算執行率が98.0%で不用額の主なものは医業費用で給与費、材料費及び経費によるものであります。

(2)資本的収支

・資本的収入(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	30,785,000	30,774,404	△ 10,596	100.0%
企業債	21,300,000	21,300,000	0	100.0%
繰入金	4,794,000	4,794,000	0	100.0%
寄附金	4,391,000	4,380,404	△ 10,596	99.8%
償還金	300,000	300,000	0	100.0%

・資本的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	77,006,000	75,850,725	1,155,275	98.5%
建設改良費	41,590,000	40,435,308	1,154,692	97.2%
企業債償還金	35,416,000	35,415,417	583	100.0%

資本的収入は予算執行率が100.0%、資本的支出は予算執行率が98.5%で決算額は1,155,275円の不用額が生じており、その主なものは建設改良費であります。

4 企業債及び一時借入金の状況

(1)企業債

(単位:円)

前年度末 繰越残高	平成28年度中		次年度以 降繰越額
	借入額	償還額	
674,121,875	21,300,000	35,415,417	660,006,458

(2)一時借入金

(単位:円)

前年度末 借入残高	平成28年度中		次年度以 降繰越額
	借入額	償還額	
0	300,000,000	200,000,000	100,000,000

企業債は建設改良事業に要する経費の財源とするため 21,300,000円を借り入れ、一時借入金は年度内及び年度末資金不足を見込み、一般会計から 200,000,000円、町内金融機関から 100,000,000円を借り入れております。

5 業務量

(1)入院収益

項目	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
病床利用率	63.2%	61.3%	75.1%	73.0%
1日平均入院患者	94.8人	92.0人	112.7人	109.5人
1人1日当たり収入	29,584円	30,587円	28,552円	27,873円

(2)外来収益

項目	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
1日平均外来患者	331.4人	344.6人	355.9人	337.9人
1人1日当たり収入	8,059円	7,998円	7,818円	7,897円

業務量では、入院における病床利用率は 63.2%と前年度比 1.9%増となっており、入院患者数は1日当たり 94.8人で前年度比 2.8人の増、1人1日当たりの収入では 29,584円で前年度比 1,003円の減であります。

外来患者は1日当たり 331.4人で前年度比 13.2人の減、1人1日当たり外来収入は 8,059円で前年度比 61円の増であります。

業務量の基準となる患者数は、前年度と比較して入院では微増しておりますが、病床利用率は2年連続で70%を下回っております。また、外来患者は平成27年度から減少傾向にあり、患者離れが顕著に表れております。

6 職員数

各年度末職員数

(単位:人)

項目	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
医師	14	15	14	12
助産師・看護師	75	73	71	74
准看護師	3	3	5	5
医療技術者	22	21	22	22
事務職員	10	10	10	10
その他職員	2	2	3	3
計	126	124	125	126

職員数を各年度末で見ると、医師は年度当初15人体制でしたが、年度途中で1人退職し14人で前年度比で1人減、看護師は78人で前年度比で2人の増となっており、看護師不足は改善傾向にあります。

以上、平成28年度公立芽室病院事業会計決算状況を申し上げますが、本業の経営成績を示す医業収支は、医業収益 1,880,765,649円に対し、医業費用は 2,432,915,275円であり、552,149,626円の損失となり、これに、医業外収益 374,802,405円及び医業外費用 55,359,652円を加えた収益的収支では 232,706,873円の純損失となりました。

平成28年度は年度当初から15人体制で診療を行い、医業収益の改善を期待したところですが、年度途中の内科医師の退職もあり入院・外来ともに患者数は伸び悩み、医業収益は前年度を下回る結果となってしまいました。

特に入院にあっては病床利用率が 63.2%と、2年連続で70%を大きく下回っており、安定的な患者数の確保と医業収益増加に向けた取り組みが喫緊の課題となっております。

また、通常の業務活動の実施に係る運転資金の動態においても、年度内及び年度末の資金不足解消に向け、一般会計及び金融機関から一時借入れを行うなど運転資金の減少が顕著となっております。運営の効率化など更なる経営改善を図る必要があります。

しかし、こうした状況にあっても、公立病院には地域医療の確保と健全経営の両立が求められております。

こうした中、本町では平成29年5月に、(1)地域医療構想を踏まえた役割の明確化、(2)経営の効率化、(3)再編・ネットワーク化、(4)経営形態の見直しの4つの視点に立った「公立芽室病院 新・改革プラン」が策定されたところであり、経営の健全化に向けその着実な実行を期待するものであります。

今後も医師の安定確保を図り、医療・看護の高度で良質なサービスの提供に努められ、住民から信頼される地域の基幹病院としての責務を果たすとともに、自立的な経営が構築されることを切に望むものであります。